

22のテーマで語る魅惑の博物館コレクション

企画展

博物館

イキキ

2018年4月28日[土]→6月10日[日]

- 休館日 毎週月曜日(ただし4/30は開館し、翌5/1休館)と第4火曜日  
会期中の休館日：5/1、7、14、21、22、28、6/4
- 開館時間 9時30分～17時(入場は16時30分まで)

博物館行き。一般的には古びて使われなくなった物に対する言葉のようです。ですが、実は博物館に來た物たちは、とてもイキイキとしています。

名古屋市博物館は、皆様の協力を得ながら、40年以上かけてコレクションをつくり上げてきました。集めるだけでなく、調べ、活かすことで、地域の歴史や文化を伝える大切な源となっています。今回の展覧会では、22の多様なテーマから、博物館コレクションの魅力に迫ります。



名古屋市博物館

〒467-0806 名古屋市瑞穂区瑞穂通 1-27-1  
TEL 052-853-2655 FAX 052-853-3636  
ホームページ <http://www.museum.city.nagoya.jp/>

報道資料

PRESS RELEASE



企画展 博物館イキ！は、名古屋市博物館所蔵資料を中心として、今、注目される22のテーマから構成する名古屋市博物館独自の展覧会です。

- 22のテーマは、近年新たにわかったことや新たな取組として報道で取り上げられた話題のものや、この地域の歴史・文化を語るもの、ばかりです。
- 各テーマを通して、知ってそうで知られていない博物館の役割を紹介します。集める、調べる、語る、そして、「博物館行き」から「生き」へ。  
→詳しくは2・3ページへ
- 国指定重要文化財である黒楽茶碗 銘「時雨」、太刀 銘「行平作」、古瀬戸魚波文瓶子など、博物館の逸品も展示します。
- 特に以下の二件は、初紹介となります。
  - ・昨年9月に伊勢湾台風に関する資料の情報提供を市民に呼びかけました。その成果をまとめて展示します。
  - ・市民からの寄附により博物館資料を修復する「よみがえれ文化財」。平成29年度の修復成果を展示・報告します。(草花図屏風、御領分図)

## 展覧会情報

展示名称	企画展 博物館イキ！
会期	平成30年(2018)4月28日(土)～6月10日(日)
休館日	毎週月曜日(祝・休日の場合開館、その直後の平日休館)と第4火曜日 会期中の休館日5/1、7、14、21、22、28、6/4
開館時間	9時30分～17時(入場は16時30分まで)
主催	名古屋市博物館
観覧料金	一般300(400)円 高大生200(300)円 中学生以下無料 市内在住の65歳以上100(200)円 敬老手帳等の提示が必要。他の割引との併用はできません。 ※( )内は常設展との共通料金。 ※名古屋市交通局の一日乗車券・ドニチエコきっぷを利用して来館された方は50円割引。 ※身体等に障害のある方または難病患者の方は、手帳または受給者証の提示により、本人と介護者2人まで料金無料。 ※各種割引は重複してご利用いただくことはできません。 ※30名以上の団体は割引があります。お問い合わせください。

## お問い合わせ先

名古屋市博物館 学芸課 資料提供や広報一般については▶星子または広報担当主査  
企画内容についての取材▶瀬川まで  
〒467-0806名古屋市瑞穂区瑞穂通1-27-1 Tel 052-853-2655 Fax 052-853-3636  
E-mail ncm-gaku@juno.ocn.ne.jp ホームページ <http://www.museum.city.nagoya.jp/>





# 22のテーマ

\*テーマ名は変更する場合があります。

## 集める!

- 1 森川コレクション
- 2 富田重助家資料
- 3 横井庄一生活資料
- 4 昭和を撮る
- 5 焼き物
- 6 刀剣・甲冑
- 7 猿猴庵の本



1 森川コレクション



4 昭和を撮る



3 横井庄一生活資料



5 焼き物



7 猿猴庵の本

## 調べる!

- 8 秀吉文書を調べる
- 9 長篠合戦図屏風
- 10 宗教美術の科学的調
- 11 名古屋東照宮祭礼図巻
- 12 機織り



10 宗教美術の科学的調



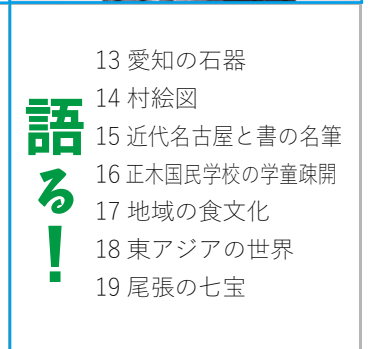
9 長篠合戦図屏風



11 名古屋東照宮祭礼図巻



12 機織り



## 語る!

- 13 愛知の石器
- 14 村絵図
- 15 近代名古屋と書の名筆
- 16 正木国民学校の学童疎開
- 17 地域の食文化
- 18 東アジアの世界
- 19 尾張の七宝



16 正木国民学校の学童疎開



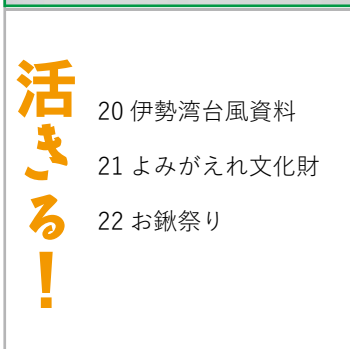
17 地域の食文化



18 東アジアの世界



19 尾張の七宝



## 活かす!

- 20 伊勢湾台風資料
- 21 よみがえれ文化財
- 22 お鋤祭り



20 伊勢湾台風資料の収集



21 よみがえれ文化財



22 お鋤祭



# 22のテーマ詳細

\* テーマ名は変更する場合があります。

## I 集める!

個人が情熱と時間をかけて集めたコレクションや代々家に伝わったもの。様々な思いが博物館に託される。こうした思いを受け取りながら、博物館は地域の特徴ある歴史文化を知るために、さらにコレクションの充実に努力する。

- 1 森川コレクション：茶人森川如春庵が集めた重文「時雨」などの逸品
- 2 富田重助家資料：近代中京財閥のひとつ「紅葉屋財閥」草創期を語る資料群
- 3 横井庄一生活資料：終戦後もグアムで生きるために作り、使った道具
- 4 昭和を撮る：昭和の名古屋と人々を記録した寺西二郎の写真
- 5 焼き物：尾張の焼き物の歴史と魅力。重文、古瀬戸魚波文瓶子など
- 6 刀剣・甲冑：重文太刀 銘「行平作」ほか、人々を魅了する刀と甲冑
- 7 猿猴庵の本：江戸時代を記録した博物館を代表するコレクション

## II 調べる!

いつ、どのような材質・方法で、何のために作られたのか。学芸員は、類例を探し求め、研究し、その資料の魅力を引き出す。

- 8 秀吉文書を調べる：七千通以上の文書を編纂する。前人未到の大事業
- 9 長篠合戦図屏風：屏風に描かれた三英傑はどこにいる？
- 10 宗教美術の科学的調査：赤外線、X線写真が明らかにする仏像の真実
- 11 名古屋東照宮祭礼図巻：祭りがわかると絵巻が動いて見えてくる
- 12 機織り：実践して初めてわかる機織りの技術

## III 語る!

名古屋市博物館の展示では、二つの大きな柱がある。一つが名古屋・尾張を中心とするこの地域の歴史・文化を紹介すること。もう一つが、世界の歴史・文化を見据えることである。様々な展示資料が語る歴史と文化。

- 13 愛知の石器：旧石器時代から弥生時代までの愛知の石器
- 14 村絵図：村の景観を伝える江戸時代の絵図
- 15 近代名古屋と書の名筆：名古屋に伝わる古筆や大口周魚の業績を探る
- 16 正木国民学校の学童疎開：戦時下、疎開した児童、親、教師を語る記録
- 17 地域の食文化：地域の食文化を調べ市民の思い出を集め展示する
- 18 東アジアの世界：東アジアの歴史・文物に向けた情熱と探究心
- 19 尾張の七宝：世界へ輸出された明治の尾張を代表する工芸

## IV 活きる!

近年、名古屋市博物館では新しい形の資料の「活用」を模索している。市民や様々な機関との連携を深めながら、新しい博物館として活きる道を探っている。

- 20 伊勢湾台風資料の収集：伊勢湾台風の被害を伝えるための活動
- 21 よみがえれ文化財：市民の寄附により文化財を修復する取り組み
- 22 お鋤祭り：博物館資料から江戸時代の祭りが復活する

各テーマごとに担当する専門の学芸員がいます。  
ぜひ興味あるテーマを取材してください。  
ここでは書ききれない様々な話題があります。







# さらに楽しむ イベントいろいろ

## ! ギャラリートーク

毎回違う学芸員が担当した1テーマについてじっくり解説します。

日時 会期中の土・日・休祝日（ただし、5月3日（木・祝）はのぞく）  
10時30分から20分間程度

場所 特別展示室内

講師 当館学芸員

定員 当日先着30名程度

要観覧券

## !! はくぶつかん講座 「博物館行きから生きへ～魅惑のコレクション」

日時 5月3日（木・祝） 10時30分から1時間程度

場所 展示説明室

講師 当館学芸員

定員 当日先着100名

聴講無料

## !!! フェスタ名市博 2018 ～春～

モノ作り、ゲーム、謎とき。名古屋市博物館をまるごと楽しもう！

日時 4月28日（土）・29日（日・祝）10時～15時30分（受付は15時まで）

場所 展示説明室ほか

参加費 無料（ただし、常設展示室内で行う企画については常設展観覧料が必要です。  
企画展と常設展の共通券がお得です。）

企画・実施 名古屋市立大学 博物館サポーター MARO

ワークショップでは  
組ひも、タッセルキーホルダー、  
メッセージカードなどが作れます。

はくぶつかん講座などで手話通訳・要約筆記などによるサポートをご希望の方は、当日の2週間前までに名古屋市博物館までご相談ください。





広報用 作品画像・読者プレゼントチケット 申請書

名古屋市博物館 企画展

「博物館イキ！」

平成30年(2018) 4月28日(土)～6月10日(日)

◎確認ください

- 広報用画像の使用は、名古屋市博物館企画展「博物館イキ！」展を紹介する場に限りです。
- 展覧会終了後の使用、または二次利用はお断りします。
- 広報用画像を紹介する場合は、展覧会名・会期・会場・作品名・クレジットを必ず記載してください。
- 広報用画像は全図で使用してください。トリミング、変形、部分使用、文字のせを行う場合は事前に申請の上、承諾が必要となります。
- 掲載記事につきましては、基本情報確認のため、校正刷り、原稿の段階で下記の広報担当までお送りください。

貴社名	媒体名
〒 ご住所	
ご担当者名	所属部署
TEL	FAX
E-mail	
ご掲載・放映の予定日が決まっている場合はお知らせください。 年 月 日	

【個人情報の取扱いについて】

ご記入いただきました個人情報は、名古屋市博物館より今後の展覧会に関する情報発信や連絡などが必要な場合にのみ使用します。許可なく第三者に開示することはありません。

作品画像を1点以上掲載し、本展をご紹介いただける場合、読者向けチケット(5組10名分まで)を提供します。

原則として掲載紙・誌 (web の場合は掲載アドレス通知のメール) が広報担当に到着し、確認させていただいてから発送いたします。

- 希望する 組 名分
- 希望しない

希望する画像のに✓してください。

<input type="checkbox"/> 1  十一面観音菩薩像 名古屋市博物館蔵(下郷家(栢木)伝来)	<input type="checkbox"/> 2  『御鋏祭真景図略』 名古屋市博物館蔵	<input type="checkbox"/> 3  重要文化財 黒楽茶碗 銘「時雨」 名古屋市博物館蔵(森川コレクション)	<input type="checkbox"/> 4  百花文七宝大壺 名古屋市博物館蔵
<input type="checkbox"/> 5  横井庄一さんが発見時身につけていた服 名古屋市博物館蔵	<input type="checkbox"/> 6  盤龍鏡 名古屋市博物館蔵	<input type="checkbox"/> 7  展覧会ロゴ	<input type="checkbox"/> 8  展覧会チラシ

名古屋市博物館 学芸課 企画展「博物館イキ！」広報担当 星子または普及担当主査

お問い合わせ先 〒467-0806名古屋市瑞穂区瑞穂通1-27-1

Tel 052-853-2655 / Fax 052-853-3636/E-mail ncm-gaku@juno.ocn.ne.jp